

3. フリーダイバーインストラクター

3.1 はじめに

これは、候補生の水中意識を高める目的で、息止めダイビングを教える基礎を教えたい個人向けのエントリーレベルのフリーダイバーインストラクター評価コース (IEC) です。

3.2 コース目的/目標

このコースの目的は、深度20mまでの初級ブレスホールドダイビング指導の利点、危険性、適切な手順を提示することで、個人の指導スキルを評価することです。

3.3 プログラムの前提条件

1. 18歳以上
2. PFIインターミディエイトフリーダイバー認定もしくは同等の資格を持つ者
3. PFIアシスタントインストラクターとして認定
4. 良好な医学的および身体的状態にあり、医師からのフリーダイビングの医療クリアランスに署名していること。
5. ファーストリスポンス成人&小児のエマージェンシーケアと酸素管理者(法によって認められる場合) の資格または同等の資格を現在取得していることを証明する書類を提出すること。注意:ファーストレスポンスコースは、資格のあるインストラクターによってフリーダイバーインストラクターコースと組み合わせることができます。

3.4 講習生に必要な器材

フリーダイブで使用可能な品質のマスク、フィン、スノーケル、保護スーツ、ウエイトベルト、ウエイト（地域の環境に適した物）、フリーダイブコンピューター、時間を測るデバイス

3.5 サポート教材

講習生用教材

1. PFIフリーダイバー マニュアルまたはeラーニングコース
2. PFI フリーダイバー インストラクターリソース
3. PFIスタンダード&プロシージャー

インストラクター用教材

1. PFI インストラクター マニュアル
2. ITI インストラクターエバリュエーション フォーム
3. ITI 限定水域およびオープンウォーター評価 フォームまたはスレート
4. PFI フリーダイバーインストラクター 試験と解答
5. PFI インストラクタートレーナー マニュアル

3.6 修了者に与えられる資格

1. このコースを修了すると、修了生は次のPFIフリーダイビングコースを実施できます。

- スノーケラー
- ベーシックフリーダイバー
- フリーダイバー
- セーフバディ
- オープンラインダイビング
- コーチングプログラム
- イントロフリーダイビング プログラム

このコースを修了すると、卒業生は中級アシスタント インストラクター、中級フリーダイバー インストラクター、またはスペシャリティーフリーダイビングインストラクター コースに登録する資格を得ることができます。

3.7 クロスオーバーコース開催可能要件

このコースは、PFI フリーダイバーインストラクタートレーナーによって行われる場合があります。

3.8 インストラクター1名あたりの候補生数

クラスルーム

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限は無い。

限定水域(コンファインドウォーター)

1. 1 人のインストラクター トレーナーに対して最大 6 人の候補生(6:1)、または資格のあるアシスタントが追加される場合、1 人のインストラクター トレーナーに対して最大 10人の候補生(10:1)。

オープンウォーター

1. 1 人のインストラクター トレーナーに対して最大 6 人の候補生(6:1)、または資格のあるアシスタントが追加される場合、1 人のインストラクター トレーナーに対して最大 8 人の候補生(8:1)。

3.9 コース構成と時間

IEC:

1. フリーダイバースーパーバイザー、アシスタントインストラクターとして、インストラクターレベルのクオリティで、必要なすべてのスキルができること。
2. 水中セッションは 1 日 2 回まで
3. トレーニング実習は、日中、または日中の条件をシミュレートする条件下で完了する必要があります。
4. IDC修了後、6ヶ月以内にIECに参加しなければならない。

限定水域実習

1. 限定水域スキルの最大限定水域トレーニング実習は 10m / 33ftです。
2. 候補生は、該当する場合、限定水域を「オープンウォーター環境」として扱い、オープンウォーターフリーダイビングと一致するすべてのプロトコルを採用する必要があります。

オープンウォーター実習

1. トレーニングの深さは20~25mでなければならない、最大深度は25mを超えてはならない。

コース構成

1. PFIでは、インストラクターは参加する講習生の数とスキルレベルに応じてコースを構成することができます

コース時間

1. PFI IECの直接監督下での最低時間は16時間です。

3.10 事務手続き項目

1. 全ての候補生から講習費用を受領する。
2. 候補生が必要な器材を保有していることを確認する。
3. 候補生にスケジュールを伝える。
4. 候補生に一般賠償責任の免責および病歴書フォームに記入してもらいます。

3.11 知識開発の概要

次のトピックをカバーする必要があります。

1. はじめに
 - a. コースの概要
 - b. 事務処理と前提条件
 - c. 必要器材の要件のチェック
 - d. プールのプロトコルと行動
 - e. 水中でのプロトコルと行動
 - f. 安全・監視の徹底
2. 全てのクラスルームでのプレゼンテーションのアシスト
 - a. クラスルームでの自己紹介
 - b. あらゆる書類収集のアシスト
 - c. 全てのクラスルームでのデモンストレーションのアシスト
3. 知識開発のプレゼンテーション
 - a. 学科プレゼンテーションフォームを使用して、教室でのプレゼンテーションを1つ完了します (教室でのプレゼンテーションは、スライドトピックを1つ行う)。
 - b. ブリーフィング/コンテンツ/要約を含む教育形式で提示
 - c. プレゼンテーションの合格点を達成
4. スタンダード&プロシージャー試験
 - a. スタンダード&プロシージャー試験で80%の合格点を達成

3.12 限定水域(コンファインドウォーター)

フリーダイバーインストラクターとして認定されるには、候補生は PFI インストラクタートレーナーが満足する以下のスキルを示す必要があります。

1. ウォーターマンシップとスタミナー水面
 - a. 16分以内で800mのスノーケル
 - b. ノンストップ、10分以内で400mのスノーケルゴーグル可
 - c. 浮力体なしで、立ち泳ぎ15分
 - d. 100mのエグレススイムでノンストップBLSを実施。
2. プールでのブリーフィングの実施
3. 限定水域教育プレゼンテーション
 - a. 1つの限定水域教育プレゼンテーションで合格点を獲得
4. 限定水域スキル評価
 - a. 4分間の呼吸とウォームアップなしで2分間以上のスタティックを完了
 - b. ウォームアップなしで、4分間の呼吸から回復呼吸までの適切なテクニックを示しながら、器材を装備して50m以上のダイナミックを完了
 - c. すべてのスキルで習熟度とデモンストレーションのクオリティーを示します。

5. 問題管理評価

- a. デモンストレーションクオリティーのスタティックアプネアレスキューで合格点を獲得
- b. デモンストレーションクオリティーのダイナミックアプネアレスキューで合格点を獲得

3.13 オープンウォーター

フリーダイバーインストラクターとして認定されるには、候補者は、PFI インストラクタートレーナーが満足する品質、スキルを実証するために、指導および実行できなければなりません。

1. オープンウォーター コンスタントウェイトダイブ評価 (能力テスト)
 - a. 20m/66ftまでのコンスタントウェイトダイブを4回行い、ブリージングアップからリカバリーブリージングまで、2分以内の水面休息を取りながら、講習生へのブリーフィングとデブリーフィング、ダイビング中の問題点を修正し、最終の4本目は20m/66ftからのレスキューシナリオを完成させること。
2. オープンウォーター教育評価
 - a. オープン ウォーター教育プレゼンテーションで合格点を獲得します。
3. 問題管理 - キャパシティ・ダイブ・テストの4ダイブ目に実施
 - a. レスキュー評価を正常に完了。
 - b. 水中ブラックアウトを含むダイブのCWT監視と、水面での2回のフルブレスまでのレスキュー評価を正常に完了します。
4. スキル評価
 - a. すべてのスキルのデモンストレーションで習熟度とデモンストレーションのクオリティーを示します。
5. 20m/66ftでのストレステストを正常に完了。
 - a. デモンストレーションクオリティのCWTダイブ20m/66ft
 - b. プレートで座る
 - c. 水没とマスク脱着
 - d. マスクを外し、背中の中で片方の手からもう一方の手へと渡す。
 - e. 取り付けとマスククリア
 - f. デモンストレーションクオリティーで、浮上と回復呼吸を行う

3.14 修了要件

このコースを完了するには、講習生は次のことを行う必要があります。:

1. すべてのクラスルーム、限定水域、海洋実習に参加し、アシストすること
2. すべての筆記試験で 80%以上のスコアを獲得
3. 少なくとも 1つの学科プレゼンテーション、1つの限定水域のプレゼンテーション、および 1つのオープンウォーターの教育プレゼンテーションを提示し、それぞれで合格点を獲得
4. スタティック、ダイナミック、オープンウォーターでのレスキュー評価に合格
5. 限定水域とオープンウォーターのスキルデモンストレーションの習熟度を示す
6. サイトでのセットアップと分解に関する組織的なスキルを実証
7. PFIプロフェッショナルにふさわしい判断と実行の成熟度を示します。

3.15 認定手順

1. リーダーシップレベルの評価は、リーダーシップ登録フォームで処理されます。